

☆天文の基礎知識

—— 「春分の日」と「秋分の日」について ——

今年(2022年)の「春分の日」は3月21日です。「春分の日」というと小・中学生のみなさんの中には、「学校は休みだし、彼岸の中 日なので団子を食べられるいい日だ」と思っている人がいるかもしれません。でも、それだけではなく、国の法律で、春になるので「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」と定めています。

そして、他の祝 日の中にはあるていど自由にかえられる日が多く、全祝日が前の年の2月ごろに発表されますが、「春分の日」と9月の「秋分の日」だけは、星座の中の太陽の位置をもとにして決めているので、あまりかえられません。

その太陽の位置とは、地球の赤道の真上にある「春分点」と「秋分点」というところで、そこを太陽が通過する日を「春分の日」と「秋分の日」にしています。

ただ、その「春分点」と「秋分点」が長い年月の間に少し移動することと、2月29日の閏日がある年かない年かによって、「春分の日」と「秋分の日」がここしばらくは、右の表に示したように1日だけかわると予想されます。

予想される「春分の日」と「秋分の日」(◎印は閏年)

年	春分の日	秋分の日
2022	3月21日	9月23日
23	21	23
◎ 24	20	22
25	20	23
26	20	23
27	21	23
◎ 28	20	22
29	20	23
30	20	23
31	21	23
◎ 32	20	22
33	20	23
34	20	23
35	21	23
◎ 36	20	22

☆今年一番の天体ショー

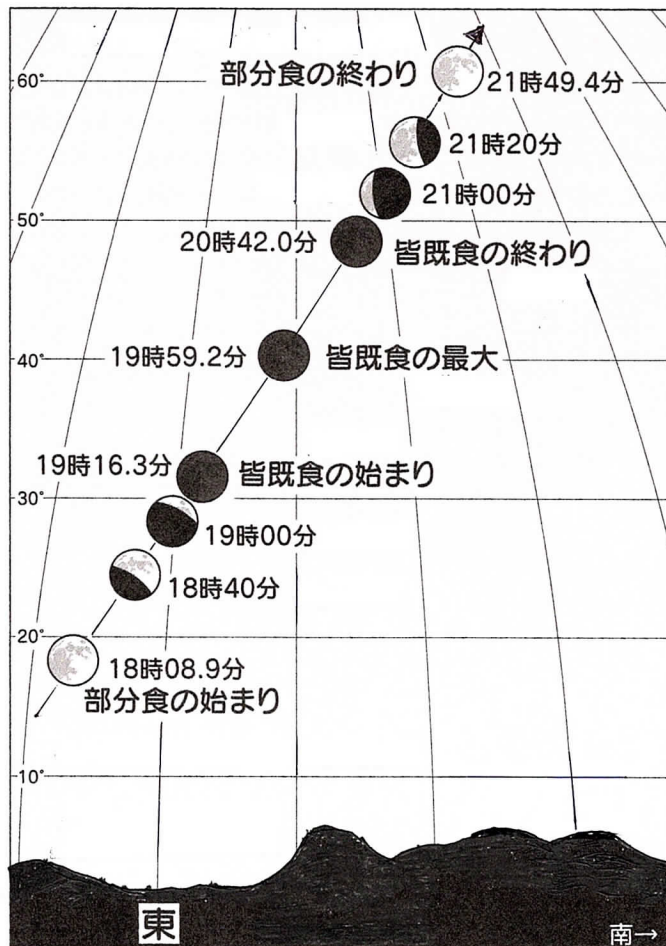
11月8日(火) 皆既月食(かいきげつしょく)

2022年11月8日の晩に、満月が全部地球の影に入る「皆既月食」があります。平日ですが観察するにはちょうど良い時間帯です。月食が始まるのが18時すぎで、月の下側から欠けていきます。19時16分には地球の暗い影に入り始め、19時59分に一番深くまで入ります。

皆既中は、月全体が赤銅色にそまり、その神秘的な美しさにはだれもが感動させられます。

今回は天王星が月にかくされる現象(見るためには双眼鏡などが必要)もあり、ダブルの天体ショーをぜひ楽しんでください。

部分食の始まり	18時09分
皆既食の始まり	19時16分
食の最大	19時59分
皆既食の終わり	20時42分
天王星食始まり	20時46分
〃 終わり	21時40分
部分食の終わり	21時49分



皆既月食の見え方